

エリア配置図



エリア番号	エリア名称
ウ	黒谷口

エリアの位置づけ

- ・秋芳洞西側にあたる黒谷口は、年間入洞者の3割弱の入洞口であり、秋芳洞の行き帰りどちらかで利用することの多い、観光客の集中度の高いエリア。
- ・黒谷案内所、黒谷口アーケード、黒谷バス停、黒谷公衆トイレ、黒谷口風除室、黒谷渡廊下が立地している。

エリア周辺の状況

- ・対象施設の全体的な老朽化とともに、渡廊下や駐車場沿いにある空き店舗等、廃屋を含む民間所有施設の老朽化が目立ち、荒廃し、寂れた印象を与えている。
- ・アスファルト敷による広大な駐車場が殺風景な印象を与えている。
- ・コンパクトなエリア内に、公衆トイレが2箇所設置されているが、特に黒谷バス停内トイレは清潔感や快適性に欠け、観光客への印象が良くない。

ポータル分析に基く施設整備に関する課題抽出・整理

- ・5-5-ウ.黒谷案内所は非常にハード評価は低いが経済的評価で全施設中最高位でありソフト評価は非常に高く、優先的にハード面含めた施設整備検討の実施が望まれる。
- ・5-8-ウ.黒谷バス停内の公衆トイレは、ハード評価ソフト評価ともにエリア内で最も低く、存続の必要性も含め機能の見直しをはかるべきである。
- ・5-10-ウ.黒谷公衆トイレは、ハード評価は高いがソフト評価が低い。利用率はピーク時で33%であり、黒谷バス停内公衆トイレの利用率17%と合計しても50%であることから、黒谷公衆トイレへの一本化をはかることが望ましい。

エリアのポテンシャル、今後の向かうべき姿

- ・秋芳洞の第二のゲートとして、秋芳洞観光の目指すべき方針に沿い、秋芳洞入口と連携した整備検討が必要である。
- ・空き家となっている民間所有施設を含めた、一体的な景観整備が必須である。

管理番号-棟番号-エリア番号		5-5-ウ	5-6-ウ	5-8-ウ	5-10-ウ	エリア総合	全施設平均
施設名称		黒谷案内所	黒谷口風除室	黒谷バス停	黒谷公衆トイレ		
ハード評価	老朽化判定	20.0	28.3	20.0	37.8		
	建築年数	4.9	13.9	14.8	29.5		
	災害危険度	25.0	25.0	25.0	25.0		
	耐震性能	0.0	0.0	0.0	50.0		
	バリアフリー性能	0.0	0.0	0.0	12.5		
合計		10.0	13.5	12.0	31.0	17.7	21.3
ソフト評価	経済的評価	50.0	13.5	13.3	12.8		
	利用状況	34.7	34.7	8.8	18.8		
	実態調査	0.1	0.4	0.0	0.2		
	満足度調査	17.0	17.0	17.0	17.0		
	合計	25.4	16.4	9.8	12.2		